

東京女子大学比較文化研究所主催ティー・レクチャー

ルイザ・メイ・オルコットのもう一つの顔 — 『若草物語』の秘密 —



篠目 清美

東京女子大学名誉教授

2022年10月27日(木)
14:55-16:25 (開場14:40)
比較文化研究所 (4号館4階)



『若草物語 Little Women』(東宝、1969年)

対象: 本学学生・教職員(先着受付・定員25名)

hikaku@lab.twcu.ac.jp宛にお申し込み下さい。(10/25締切)

※学生はCISアカウントから申し込むこと。 ©03-5382-6413

◎<https://www.lab.twcu.ac.jp/~icsc/event/index.html>

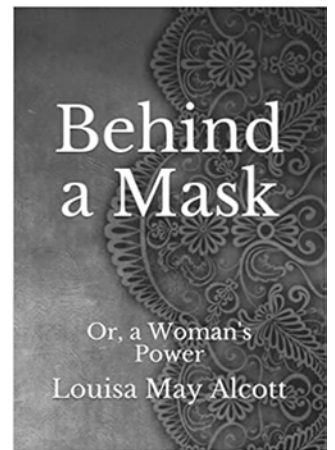
 東京女子大学比較文化研究所

東京女子大学比較文化研究所主催ティー・レクチャー

ルイザ・メイ・オルコットのもう一つの顔 —『若草物語』の秘密—

■講演梗概

アメリカ女性作家ルイザ・メイ・オルコット作『若草物語』（1868・69年）は著者オルコット自身と家族をモデルとした自伝的な作品で、出版以来 150 年以上にわたって世界中で愛読されています。南北戦争時代に生きるマーチ家の四姉妹をめぐる物語の著者オルコットは「子どもの友」と称され、児童文学作家として注目されてきました。ところが 1970 年代以降、オルコットが一部ペンネームで発表していた煽情小説やスリラー小説の発掘や再出版に伴い、『若草物語』をフェミニスト批評の視点から読み直し、再評価する動きが広まっています。今回はオルコットが 19 世紀の社会が求めた「女性の領域」をどのように逸脱し、その思いをこの作品に託したか、その限界も含めて探り、オルコットという作家の全体像に迫りたいと思います。



Independently Published, 2021

■講師紹介

篠目 清美 Kiyomi SASAME 東京女子大学名誉教授

1953 年生まれ。東京女子大学文理学部英米文学科卒業。東京女子大学大学院文学研究科修士課程修了。Brandeis 大学大学院英米文学科修士課程修了。1994 年より東京女子大学教授として、比較文化研究所長などを歴任。現在、同大名誉教授。専門はアメリカ文学、女性学。主な著訳書に、『ルイザ・メイ・オルコット事典』（翻訳、雄松堂出版、2008 年）、『ゼルダ・フィッツジェラルド全作品』（共訳、新潮社、2001 年）、『親子関係のゆくえ』（共編著、勁草書房、2004 年）など。

『若草物語 Little Women』（東宝、1969 年）

2022. 10. 27(土) 14:55~16:25(開場:14:40) 比較文化研究所(4号館4階)

対象: 本学学生・教職員(先着受付・定員 25 名)

hikaku@lab.twcu.ac.jp 宛にお申し込み下さい。(10/25 締切) ※学生は CIS アカウントから申し込むこと。

©03-5382-6413 ©<https://www.lab.twcu.ac.jp/~icsc/event/index.html>

 東京女子大学比較文化研究所